

『想いをひとつにして』

I am the vine, you are the branches.  
John15:5



福岡女学院同窓会会報

ぶどう

BUDOU

- Alumnae association bulletin -  
2026



## 会報誌『ぶどう』デジタル配信へ

兼ねてより印刷物のデジタル化を推進してまいりましたが、**印刷物での郵送を希望される方にお送りする予定です。**

郵送をご希望の方は、右記の二次元コードから申込みいただくか、右記の1～4の事項をご記入の上、メール、FAXまたは郵送にて、最終ページ下部に記載されている同窓会事務局宛にお送りください。

### 〔郵送受取希望のかた〕

1. お名前(卒業時のお名前も)
2. 生年月日
3. 卒業のグレード(学校)(卒業年)
4. 会員番号(分かれば)



## 今後の同窓会からのお知らせについて

上記のように、印刷物での受け取りを希望される方以外は、メールやSNS でのお知らせとなりますので、できる限りメールアドレスの登録をお願いいたします。また、住所やメールアドレス等に変更がある方は、同窓会ホームページより変更・追加をお願いいたします。ホームページからの登録・変更が難しい方は、同窓会事務局までご連絡ください。※事務局からのメール(@fukujo.ac.jp)が受信できるよう設定してください。



## 福岡女学院 募金のお願い

福岡女学院の歩みは、同窓生の皆さまのあたたかなご支援とお祈りに支えられてきました。これからの学院の発展のために、皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

寄付金の使途は以下よりお選びいただけます



### 1 福岡女学院中学校・高等学校 校舎建替えに伴う 福岡女学院中学校・高等学校『かがやく』応援募金

**目的** 新校舎建築を契機とした「大切なひとり」である生徒の個性と才能を伸ばすための、さらなる教育の充実及び施設設備の充実等といった教育環境の整備のために

**期 間** 2022年9月～2027年3月(予定) **目標額** 2億円

**募金額** 個人：一口 10,000円 / 法人：一口 50,000円  
※一口未満のご寄付もありがたくお受けいたします。

中学校舎のドアはスクールカラー  
木製のパイプボードは愛唱聖句が刻まれています

### 2 学生・生徒・園児の教育に思いをつなげる ぶどうの木募金

**目的** 学生・生徒の奨学資金の充実のために  
学生・生徒・園児の教育、学習および生活に関する支援事業のために

**募金額** 下記のいずれかの金額をお選びください。  
3,000円 / 5,000円 / 10,000円 / 任意の金額

ご支援のおかげで  
学業に専念でき、  
将来の夢に向かって  
日々勉学に  
励んでいます

### 3 末永く質の高い保育を実践し続ける幼稚園として すももの木募金

**目的** 果物の木、植栽などの整備や園庭整備(築山トンネル・ガチャポンプ等の設置)、子ども達の育ちに必要の園庭遊具の設置や遊具購入のために

**期 間** 2025年6月1日～2028年5月31日

**募金額** 個人：一口 1,000円  
法人等：一口 5,000円  
(一口未満のご寄付もありがたくお受けします。)

### 4 主体的に看護を想像できる人材育成を目指し、看護および医療の質向上へ 看護大学 シミュレーション教育センター AI Sim基金

**目的** シミュレーション教育の質を高め、主体的に看護を想像できる人材育成を目指し、看護および医療の質向上に貢献するために

**募金額** 個人：2,000円～  
法人等：30,000円～  
(任意の金額でも、ありがたくお受けします。)

### 5 愛の精神に基づき、日本で一番美しい看護大学へ 看護大学オリーブ基金

**目的** オリーブの木に囲まれた美しいキャンパスを目指す看護大学の「グリーンキャンパス構想」実施のために

**募金額** オリーブ特別基金：30,000円～  
オリーブ一般基金：2,000円～

### 6 心と心を繋ぐ「短歌」を通じて、社会に豊かな文化を発信する 福岡女学院短歌コンクール募金

**目的** 福岡女学院短歌コンクール運営の支援のために

**募金額** 任意の金額でありがたくお受けします

その他、皆さまのご意向によって、使途を指定していただくことができます。

## 会長挨拶



同窓会会長  
野田 幸子  
(1979(S54)年高卒)

同窓生の皆さまにおかれましては、お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。  
2025年は日本初の女性総理が誕生し、日本社会がより良くなるよう期待の高まった年でした。今年の5月で、私の会長としての任期が終わります。この4年間、世の中がどう変化しても変わらず守り続けていかなければならないこと、一方その変化に沿って変えていかなければならないことを常に意識してまいりました。

2025年5月には福岡女学院創立140周年を迎え、伝統とその重さを感じ、これからの創立の精神を永遠に引き継いでいきたいという身の引き締まる思いでした。  
そしてコロナ禍以降開催を見合わせておりました同窓会懇親会を、6年ぶりに西鉄グランドホテルで開催いたしました。その中で中高部会主催の卒業生140人展のパネルも展示し、華やかな皆様の笑顔に触れ、歴史ある同窓会の良さを改めて感じました。  
また、同窓生、生徒、学生、学院のために、いろいろなアイデアや案を掲げ、できることから取り組んでまいりました。4年間は長いようであることに限りはありませんが、学年同窓会、映画上映会、大学カフェリニューアル支援などに関わることができました。  
皆様のご協力により、無事任期を終えようとしておりますことに感謝とお礼を申し上げます。同窓会及び福岡女学院の益々の発展をこころよりお祈り申し上げます。

### 創立141周年 2026年度

## 福岡女学院同窓会総会・懇親会

**場 所**：ソラリア西鉄ホテル福岡 8階 彩雲「雪月の間」  
**参加費**：一般 7,000円 / 80歳以上・2015～2025年卒の方 3,500円 / 新卒・準会員 2,000円  
**日 時**：2026年5月17日(日) 11:00～14:30(10:30開場) 日曜日のため特別礼拝から始まります。  
**当番学年**：2000(H12)年卒業生(高校・短大・大学)

申込フォーム入力後、送信(右の二次元コードより)もしくは、同窓会事務局までメール、電話、FAXのいずれかの方法でお申し込みのうえ、4月30日(木)までに参加費をお振り込みください。  
お振り込みをもって申し込み完了とさせていただきます。

### 申込方法

ゆうちょ銀行からのお振り込み  
01700-1-93350  
福岡女学院同窓会

他銀行からのお振り込み  
ゆうちょ銀行 店名 一七九(イチナナキュウ)  
当座 0093350 福岡女学院同窓会

お申込みは  
こちらから



※福岡女学院同窓会ホームページで詳細をご確認いただけます。  
SNSでも配信いたしますので、フォローをお願いいたします。各アカウントの二次元コードは、P17に掲載しております。  
キャンセルのご連絡は、5月7日(木)までをお願いいたします。

### 福岡女学院創立141周年

## 同窓会ホームカミング&バザー

2026年  
5月16日(土)  
10:00～15:00

バザーでああなたの作品を出品しませんか？  
作品の一部に、女学院をイメージしたものをご使用ください。(ぶどう、猫、制服の色等)  
お申込み・お問い合わせは、同窓会事務局まで。



応募締切：2026年3月末日



# 総会・懇親会 開催報告



5月18日、西鉄グランドホテルに於いて、総会および懇親会を開催いたしました。学院から、廣田理事長、守山院長、副島学長、松永学長、重枝校長、碓事務局長、松原名誉理事長、十時名誉理事長にお越しいただきました。また、恩師 谷口奈々美先生、田中博文先生をお招きし、114名の同窓生が集まりました。

開会にあたって、礼拝を守りました。守山院長にメッセージをいただき、創立者ギール先生の思いと、これまで紡がれてきた学院の歴史を覚えて祈りました。総会では、すべての議事が承認されました。ありがとうございました。懇親会では、廣田理事長の挨拶、副島学長の乾杯の発声により、和やかな歓談の時間が始まりしました。1999年卒業の皆様には、当学年として進行や受付等ご協力いただきました。また、中高部会によるパネル展示「140人展」が両脇の壁沿いに並び、多くの方にご覧いただきました。午後のお茶会としてのデザートプレートは、初の試みながらお楽しみいただけただけで何よりです。

コロナ禍には書面審議や学校開催が続き、ホテルでの総会は実に6年ぶりでした。学院創立140周年の節目にふさわしい華やかな会となりましたことを大変うれしく感じました。一方で、役員一同運営に不慣れな面があり、ご不便をおかけいたしました。配布資料におきまして、誤記がございましたことを、訂正してお詫び申し上げます。

## 創立記念ホームカミング・バザー



5月17日、学院創立記念式典がギール記念講堂で執り行われました。雨予報でしたが、晴天に恵まれ、メイクイン・メイポールダンスはロータリーで行われ、大勢の方々が取り囲んでにぎわいました。

同窓会では、ホームカミング・デーとして、集会室でお茶とお菓子を提供いたしました。中高校舎2階の渡り廊下には、パネル展示「140人展」が公開され、行事の合同にお立ち寄りいただきました。また、125周年記念館ビロティーでは、バザーを開催いたしました。思い思いの品々が並んで盛況でした。出店にご協力くださいました皆様、ありがとうございました。





学校法人 福岡女学院  
理事長 廣田 りょう

福岡女学院同窓会の皆さま、日ごろは女学院の発展のために大きなお支えをいただき心から感謝申し上げます。今この時、卒業生のお一人お一人が社会でそしてご家庭で大事な役割を果たされていることこそが、長年にわたり女学院が果たしてきた女子教育の輝かしい成果であることをあらためて覚えます。

2025年度は1985年の英和女学校創立から140周年を迎え、記念式典、メイポルダンス・メイクイーンを盛大にお祝いき、またパイプオルガンコンサートやクリスマスコンサート「メサイア」におきまして、多くの皆さまからの喜びの声をいただきました。

これからも同窓会の発展とともに女学院のビジョン実現に取り組んでまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



学校法人 福岡女学院  
院長 守山 恵子

創立140年という節目の今年、同窓会の皆様の母校に対する思いを折々に感じる機会がありました。思いを寄せてくださり、ご支援くださっていることに心から感謝を申し上げます。

5月に開かれた同窓会総会では、大先輩から若い方まで一堂に会することの喜びがひしひしと伝わってきました。同窓会中高部会による「140人展」は、卒業されてなお女学院生らしい同窓生の皆様のパワーに溢れており、中学生・高校生も大いに刺激を受けました。資料室主催の「短期大学おもしろ写真展」には多くの方が来場くださいました。ありがとうございます。

どうぞこれからも福岡女学院を覚え、お力をお貸しください。同窓生の皆様が誇りとす女学院であり続けます。

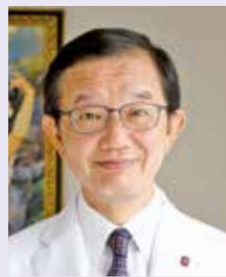


福岡女学院大学  
福岡女学院大学短期大学部  
学長 副島 雄児

昨年度は多くの皆さまに支えられながら任務に取り組むことができました。ありがとうございました。

昨年度の「ぶどう vol. 30」で、同窓会の皆さまの“つながり”の強さと“女学院愛”の深さに気づいたことをお話ししました。その気づきを、“飛躍的に”そして“圧倒的に”強固なものにする出来事がありました。5月18日開催の同窓会総会です。特別大きな会場を埋め尽くすほどの参加を得て、たくさんの方の同窓生の皆さまとお話をさせていただきました。

同窓会の“大きさ”に驚き、皆さまが女学院を誇りに思われていることを目の当たりにして、「女学院は誇り高き抛りどころであり続けねば」と決意を新たにしました。同窓会が福岡女学院の素晴らしい魅力の一つだということに気づきました。



福岡女学院看護大学  
学長 松永 彰

同窓生の皆様、2025年4月より福岡女学院看護大学の学長に就任いたしました松永彰と申します。

本年は、福岡女学院が英和女学校として開学して140周年の記念すべき年であり、様々な行事への参加を通じて福岡女学院の豊かな伝統と歴史の重みを肌で感じております。看護大学も開校以来18年目を迎え、多くの卒業生を社会に送り出してきました。福岡女学院看護大学では、キリスト教精神に基づき、看護を通じて患者さんと共に自らも成長する「ヒューマンケアリング」と学院聖句を大切にしています。知識や技術の習得はもちろんのこと、他者への深い共感と奉仕の心を育む教育を実践しています。また、本学の大きな特徴の一つである臨床現場を再現したシミュレーションセンターでは、ICTとシミュレーションを活用したアクティブラーニングを行っており、学生たちは臨床の実践的な能力を効果的に身につけています。この教育は、学生が自信を持って臨床現場で活躍するための基盤を築く上で、大きな成果を上げており、今後もこの教育方法をさらに発展させていきたいと考えております。同窓生の皆様には、これまで培われてきた温かい絆を紡いでいただき、今後とも本学の教育活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



福岡女学院中学校  
福岡女学院高等学校  
校長 重枝 一郎

### みんないい顔

卒業生の皆様、創立140周年おめでとうございます。学校長の重枝です。5年目になりました。年々増している体感として、生徒たちの「いい顔」が多くみられます。生徒たちの校内外での活躍は素晴らしいと思います。感情や雰囲気というのは伝染するもので、職員室の先生方の「いい顔」があるからかもしれません。

「いい顔」とは？ それは、ただ楽しい表情をしているというだけではないのです。目の前のことに熱中し、夢中になっているその表情は、「いい顔」なのです。だから私は、生徒・教師一人一人が「いい顔」で学校生活している、そんな雰囲気であってほしいと思っています。

また、同窓会からの温かい支援や励ましは、私の元気の源になっています。卒業式の式典に参加していただいている卒業50年の学年のみなさんに挨拶をさせていただく際には、いつも「校長ががんばれー！」と明るい大きな声で言っている。その大きなエネルギー補充になっています。

すべての価値は人から生まれます。私は、人の可能性を信じていきたい。

みなさんのDNAである「チャームिंगなファーストペンギン」マインドを持つ後輩たちを、これからも温かく見守ってください。

※「チャームングなファーストペンギン」とは「応援され力+チャレンジ力」の中高の本年度のキャッチフレーズ

## 在校生支援・贈呈式



毎年、同窓会から各学校へ支援金をお贈りしています。今年の学院寄付金は中高と看護大学へ。5月には学院創立140周年のお祝いとメイクイーン台座の装花のために。9月には大学カフェリニューアルに伴って食器類を寄贈しました。準会員の皆様が有意義な学校生活を送られますように。母校の益々のご発展をお祈り申し上げます。



## グレープガーデン

～女学院の思い出を語る会～

「卒業生140人展」には多くの反響をいただき、夏休み期間を利用して8月4日から9月13日まで追加展示を行いました。最終日には記念イベントとして「グレープガーデン」を開催し、2000年高校卒で「卒業生140人展」にも参加された卒業生をパネリストに、橋口隆文先生にもご登壇いただいて座談会を実施しました。思い出話に花が咲き、当時の学校生活や先生方とのエピソードが語られ、笑顔あふれる温かなひと時となりました。



創立記念日 校舎内展示の様子



## 中高部会

# 卒業生140人展

福岡女学院創立140周年を記念し、中高部会では「卒業生140人展」を企画・開催いたしました。

本展は、現在17,000名を超える女学校・中学・高校の卒業生の多彩な活躍の一端を、140枚のパネルで紹介したものです。

2025年5月の創立記念日には、校舎内や同窓会総会・懇親会の会場で展示を行い、多くの皆さまにご覧いただきました。その後も、オープンキャンパスや同窓会室で追加展示を実施し、ご来場くださいました皆さまに心より感謝を申し上げます。

### 「女学院の過去・現在・未来」

坂元恵子

2025年は戦後80年、戦争の様々な記憶が掘り起こされる年となりました。80年前（昭和20年）6月の福岡大空襲のことも報道されました。今も止まない世界各地の戦争、紛争に心痛めながら、改めて平和の尊さ、平和を守って行くことの大切さを強く思われる年となりました。

そして、この年、わたしたちの母校は140年を迎えました。福岡で最も長い歴史を持つ学校であることを再認識しました。そして、わたしたちの女学院はどんな学校、どんな教育をしている学校だろうと考えさせられました。また、女学院はこれからどこへ向かっていけばいいのだろうと、いわば、女学院の過去・現在・未来を考えさせられる年となりました。これを目に見える形にしようとしたのが「卒業生・140人パネル展」です。

卒業生「140人」にしたのは創立140年に因んだものです。昭和20年入学の長野厚子先生が一枚目のパネル。令和7年、

今年の卒業生若松真央さんが140枚目のパネル。延べ174人の大パネル展となりました。卒業生の「パネル展」としたのは、「女学院とはどういう学校ですか？」と聞かれると、卒業生を見てくださいと答えます」という故徳永徹先生のおことばに拠ったものです。延べ174人の卒業生たちから、女学院という学校とその教育の姿を確かに見ることができました。

卒業生174人のお一人お一人は、女学院で「一人一人が大切にされたこと、自由だったこと、毎日の礼拝を通して、愛と思いやり、平和などを考えさせられた」とことを述べておられます。私は一枚一枚のパネルから、お一人お一人が、女学院で学んだことを、今現在のご自分の生活の座で、生かし、用い、働かせておられる姿が伝わってきて、深く心打たれました。

9月、中・高校舎に

行く機会がありました。翌日が文化祭ということで、中・高生

同窓会総会・懇親会にて（会場：西鉄グランドホテル）



たちは上級生・下級生の垣根を超え、協力してクルクル動き回っていました。はじけるような笑顔が印象的でした。また、中2が描いた「クリスマス」、美術の時間に制作した「手」の塑像、体育館ではクラブ活動に集中している「一人一人の真剣な眼差し」「みんな生き生きしていいいなあ」とうれしく思いました。この生徒さんたちが創って行く3年後、6年後、10年後（創立150周年）の女学院はどんな学校でしょう。みんな（卒業生）で支えていかなければと思ったことです。

### 季節ワークショップ 4月 イースターエッグを作ってみよう！

中高部会では季節のワークショップを開催しています。2回目となったイースターエッグ作りでは、参加者それぞれが思い思いのデザインでイースターエッグを制作し、完成後はみんなで楽しくエッグ探しを行いました。和やかな雰囲気の中で交流が深まる時間となりました。



### 季節ワークショップ 11月 アドベントカレンダー作り

12月を目前に、折り紙を使った「アドベントカレンダー作り」を行いました。色とりどりの折り紙でポケットや飾りを制作し、オリジナルのカレンダーを完成させました。手作りのアドベントカレンダーとともに、待降節（アドベント）を楽しく心温まる気持ちで過ごす準備が整いました。



2024年度高等学校を卒業された皆さんへ、お祝いの気持ちを込めてメッセージカードと記念品のクリアファイルをお贈りしました。また、2025年度に入学された中学・高等学校の新入生の皆さんには、WELCOME MISSIONの想いを添えてメッセージカードを贈りました。ひとりひとりのこれからの歩みが希望にあふれるものになるよう、心を込めてお渡ししました。



● イベント開催情報は、同窓会LINEやInstagramよりご案内します ●



短大・大学  
部会短大60周年記念イベント  
資料室主催「おもいで写真展」

夏の終わりに開催された「おもいで写真展」。  
たくさんの卒業生がミッションに帰ってきてくれました。



沢山のご来場、  
ありがとうございます！  
入り口には歴代先生方の  
写真がずらり。  
「先生若い！」  
「授業厳しかったよね〜」  
「こっただけで30分以上談笑す  
るグループもありました。」

1964年の開学から2000  
年代まで年代別に懐かし  
い写真を展示。卒業後初  
めて来校した方も多く「来  
てよかった。楽しかった」とた  
くさんのお言葉をいただき  
ました。

ガウンキャップ企画は大  
好評！短大も大学もコ  
ロナ禍の卒業生のみな  
さまがミッションに帰っ  
てきてくださいました。  
「20歳のころに戻ったよ  
う！」今もお変わりない  
ですよ！

写真：福岡女学院資料室提供

## つなぎ・つながる ～ 短大60周年準備委員会 ～

委員長よりご挨拶 1974(S49)年高卒・1976(S51)年短卒 見城 眞由美

こんにちは！短大60周年準備委員会・委員長の見城です。  
短大はたった2年間だからこそ、忘れられない思い出がいっぱい。人生の宝物です。エッセイコンテストへのご応募ありがとうございました。私たちは作品を文集にまとめて「ミッション永久保存版」として福岡女学院の宝物にしたいと思っています。2月28日開催の「おもいで授業・懇親会」は大学短期大学部と学院広報・校友課、資料室のお力でステキな一日になりそうです。エッセイコンテストの表彰式も開催されます。どうぞお楽しみに！



大学カフェでミーティング。たくさんの意見がとびかかってとてもにぎやか！

短大・大学部会は「短大60周年準備委員会」を発足しました。世代を超えて、ぶどうの枝につながる仲間たちです。60周年記念「エッセイコンテスト」の運営を担っています。

メンバーは12名、本部役員と兼任してくださる方や関西支部から参加してくださる方も！笑顔いっぱいの絆に感謝と熱意で楽しく活動しています。

★ エッセイコンテストの受賞者は同窓会ホームページに掲載されています ★

エッセイコンテスト選考委員 二階堂先生にお聞きしました  
～ エッセイコンテスト応募作品を読んで ～

二階堂 整 (写真中央)  
人文学部 メディア・コミュニケーション学科 教授

担当科目は「ことばとコミュニケーション」「社会言語学」  
若者の話す言葉を対象に地域の言語の変化やメディアにおける言葉の使用実態を調査・研究 元短期大学国文科  
教員 短大60周年記念「エッセイコンテスト」選考委員

応募作品は、メールのものあれば手紙のものなど、様々でした。1期生から最近の卒業生まで、幅広い年代の卒業生が応募してくださいました。ありがとうございます。

投稿形式や卒業年次は様々ですが、どのエッセイも2年間の青春をミッションで過ごした熱い思いが語られていました。その点は、皆同じでした。原稿を読む中で短大60年の歴史とその重みを感じ

ることができました。初期の頃はそれこそ、まず親と戦いながら、社会に飛び出していた姿が語られています。最近の卒業生は、軽やかに世界をめざして羽ばたいていきます。でもその軽やかさは、初期のころからの卒業生たちが奮闘し、切り開いていった道がある故だと思っています。

これから作品集を作成していきます。楽しみにして下さい。

短大・大学部会へのご意見ご要望はこちら ▶ [tan\\_dai\\_dousou@fukujo.ac.jp](mailto:tan_dai_dousou@fukujo.ac.jp)

ミッションに帰ろう！青春の記憶を再現する4つの企画  
福岡女学院大学短期大学部  
短大60周年記念イベント  
～ おもいで授業と懇親会 ～

参加者募集！

学院ホームページの二次元コードから  
Googleフォームでお申し込みください。  
メール・電話でも申し込み可能です。

TEL | 092-575-2949  
E-mail | [gakuin-pr@fukujo.ac.jp](mailto:gakuin-pr@fukujo.ac.jp)

夏、お越しになれなかった方もぜひ！  
2月28日(土)「おもいで写真展」の一部を  
出張展示予定

福岡女学院  
ホームページ



2026年2月28日(土)  
短期大学部の主催で開催。  
英語科・国文科・家政科生  
活学科の先生方による「おもいで授業」「懇親会」のほか「おもいで写真展」の出張展示もあります！



## 看護大学 部会

「ぶどうの木に  
繋がるいのち」

看護大学部会  
部会長 上野 都花

先日、子供達がぶどうの粒を一生懸命数えている姿を見て、ふと考えました。一本のぶどうの木からはたしてどれほどの実がなるのだろうか？一本のぶどうの木からは約四十〜百房ほどの実がとれ、ここ数年人気のシャインマスカットでは、二房あたり三十五〜四十五粒程実るそうです。つまり、一本の木からおよそ千四百粒以上もの実がなるそうです。

看護大学では二〇二五年三月に第十四期生が卒業し、二〇〇八年の開学から数えると、千四百名以上の卒業生が全国の病院や市町村で活躍しています。

看護大学時代の病院実習で担当患者さんを受け持った際には「福岡女学院看護大学の学生です」とお伝えすると、「まあ、福岡女学院から！」と笑顔で声をかけていただくことも多く、とても嬉しく誇らしい気持ちになったのを今でも覚えています。これも長い歴史の中で信頼を築いてこられた福岡女学院の先輩方のおかげだと感じると同時に、その長い歴史と歩みがあつてこそ私達看護大学生も「福岡女学院です！」と胸を張って名乗ることが出来たのだと思ひ、感謝の気持ちでいっぱいです。

看護大学の教育理念に「ヒューマンケアリング」があります。患者さん一人ひとりのいのちに寄り添い、看護を通して自らも人間的に成長することがヒューマンケアリングです。ただ病気や症状だけに対応するのではなく、患者さん一人ひとりの価値観や感情、人生観を大切にしながら関わる大きな特徴です。

一本のぶどうの木が、根から養分を受け取り沢山実を結ぶように、私たち看護大学の千四百名以上の卒業生も、看護職としてそれぞれの場所でヒューマンケアリングの実を育んでいます。これからも大地にしっかりと根を張り、互いに支え合いながら、福岡女学院の卒業生として実りある人生を歩んでまいりたいと思います。

### 第6回 看護大学オリーブ祭

オリーブの森に佇む美しい看護大学を作り上げるため、前学長の片野光男先生により2018年に「オリーブ基金」が設置されました。今では沢山のオリーブの木々がしっかりと根を張り、看護大学の校舎を緑で美しく包みこんでくれています。

毎年10月は看護大学のオリーブ祭が開催されます。

2025年度は4月に就任された松永彰学長、そして古賀市の皆様も参加し、学生や教職員総勢43名でオリーブの収穫を行い、合計50kgものオリーブの実を収穫しました。摘み取ったオリーブの実はそれぞれお持ち帰りし、終始笑顔あふれる一日となりました。



## 支部だより

### 関東支部

関東支部は、2025年6月25日(水)、東京ウィメンズプラザにて総会を開催しました。関東支部におきましては、これまで通り「支部」として、メンバーグループによる支部運営を継続していきます。2025年度は、母校は創立140周年、関東支部も115周年という節目を迎えます。今年は「談話室ぶどう」の開催があり、「クリスマス礼拝＆祝会」も140周年にふさわしい豪華な企画でした。楽しく集える機会に、皆さまとともにこれまでを振り返り、これからに思いを巡らせて行きたいと思っております。同窓会に心を寄せてくださる多くの方々に感謝申し上げます。

関東支部 川崎由紀子



### 関西支部

10月4日(土)京都、東山の老舗ホテルにおいて、2025年度の関西支部総会・懇親会が開催されました。会場近くの野村美術館拝観、呈茶席で季節のお菓子と一服のお薄をお楽しみ頂きました。床の間のお軸は美術館開館者野村徳庵が写した画賛で、健康と長寿を表す柿が描かれていました。

創立140周年を迎えた学院の5月の総会の様子、恒例のメイポールダンス、新しくなった中高の校舎の映像、セーラー服を着て通ったあの頃、ガウンキャップをまとったあの日、懐かしい友との再会を喜び、たくさんの笑顔の花が咲きました。

楽しい時間をお過ごしいただけたでしょうか。ほんの一瞬女学院に舞い戻ったような秋の一日として心に刻んで頂ければ幸いです。お手伝いくださったすべての皆様に感謝申し上げます。みんなで創った楽しい総会でした。ありがとうございました。

関西支部 水口真由美



### 筑後南支部

11月8日に、三井港クラブにて支部総会を開催しました。参加者は11名でした。いつも通り礼拝で始まり、一緒に讃美歌を合唱すると、学生の頃に一瞬にして戻ります。そして、副支部長竹下さんのお祈りと体験談を話されました。私は、そのお話しに感動しました。福岡女学院で学んだから今の自分があると思ひ、たくさんの先生方や友達に支えられていた事を思い出しました。次は食事をしながらの親睦会です。一人ずつの自己紹介と近況報告は共通点もあり、又興味深く、盛り上がりのある時間となりました。本当に参加いただきありがとうございます。今後も支部会に、ご参加よろしくお願ひします。

筑後南支部 安藤 恭子





# Memories of Messiah

クリスマスの風物詩メサイア・コンサートに集結した同窓生の声をお届けします♪



メサイアに寄せて…

大塚 純子 (2002(H14)年音卒)

創立140周年のメモリアルイヤーにソプラノリストとしてステージに立たせていただき、心から嬉しく、感謝しております。

メサイア合唱団の一員としてまた合唱指導でこれまで長く携わってきました。私にとって、ソリストはずっと憧れの存在でした。高校の時から、ゲネプロと本番は間近で目にする絶好の

機会、背中をじーっと観察してはその立ち姿や歌の技術を盗んでいました。その大役…様々プレッシャーを抱えながらも、大合唱団の皆さんからのパワーを背中を感じて賛美することができ、そして会場全体で一緒にクリスマスをお祝いすることができ、至福のひとつでした。

そして、またいつか福岡女学院のメサイアが響き渡る師走が帰って来る日を待ち望んでいます。

「メサイア」を歌うということ

松田 恵子 (1965(S40)年高卒)

何にも増して先ず求められるのは、指揮者が目指す世界をアンテナ高く感じ取り、それに応える事の出来る十分に準備された声と確かな言葉。これはメサイアに限らず殆どの歌う場において当たり前のこと。改めて楽譜を開いて、全て(ソロも含めて)の曲を歌って見ると立ち表れてくる、それ迄未消化のまま歌っていた

語、フレーズの“そこ”に在る必然性。正しい情景描写の中で大きな喜びに至る確信に満ちた輝かしい言葉たちを生きた音の響きに乗せて歌うことは、まだまだ先にある遠い到達点への足がかりにすぎなかったのでしょうか。「又、いつの日か」の希みを待って、演奏の場を設けて下さった方々に感謝いたします。



メサイアが強く繋げてくれた「ぶどう」の絆

進藤 真理 (1993(H5)年高卒)

高校卒業とともに福岡を離れ、初めて合唱団に参加したのは2023年。二田先生の「思い出の授業」で歌ったハレルヤに感動し、翌日すぐに合唱団に応募いたしました。

そして今年が2回目の参加です。卒業生として女学院の「メサイア」には格別の想いがございます。練習や本番では先輩、後輩の皆様とお

話する機会に恵まれ、かつてのメサイア話を感慨深くお伺いし、現役生の皆様とお話ししては「どうか彼女達の未来が輝かしいものでありますように」と祈ります。皆で心をひとつに歌唱するひと時は私も「ぶどうの枝」であると感じ、練習さえも同窓会のような感じです。その枝は練習、本番ごとに太く感じられ、女学院との結びつきを益々強く感じることに感謝するばかりです。女学院のメサイアが末永く続きますよう願っています。

## 音楽科卒業生会

音楽科卒業生会 代表 池田 麻耶 (35回生2000(H12)年音卒)

音楽科卒業生会は代表を新たに引き継ぎ、新役員体制となりました。

9月の総会後の懇親会へは、重枝校長もお招きして貴重なお話や今後の励みとなる温かなアドバイスをいただき有意義な時間となりました。

11月の秋季学年委員会は同窓会館で行い、様々なご意見を賜りました。

11月21日開催の卒業生演奏会は初の試みとして在校生4名にも出演していただきました。

在校生、先生方、卒業生の方、たくさんのお客様にお越しいただき学院からは素敵なお花を頂戴しました。心より感謝申し上げます。

多彩な演目が揃い、世代を超えて音色が響き合う素敵なひとときとなりました。

音楽科卒業生会としてより良い活動を続けてまいりますので今後とも温かいお見守りいただけましたら幸いです。



若くて生徒に溶け込む二人の先生！  
緒方先生と坂口(紀藤)先生はどこに？



福岡女学院シャローム会 宮前迎賓館灯明殿 2025年3月1日



校長の重枝先生に  
今の生徒たちの様子を聞く

2025年3月1日、高校の卒業式にお招きいただきました。  
神戸での生活も40年が経ち福岡での同窓会が初めての出席、そして卒業以来女学院に行ったのも初めてでした。お陰さまで懐かしい皆と再会出来て本当に感激しました。  
時空を超えて当時の思い出が蘇り、荘厳なパイプオルガンで送られる卒業生の姿に50年前の私達の姿が重なってまたボロリ卒業して50年、それぞれが違う人生を歩いてきて70歳で再開できる素晴らしい。またお会いできることを楽しみにします。

このような機会をご用意くださった学校とお世話してくださった同窓会の方々ありがとうございます。  
こんなに愛にあふれる学校だったのです。通わせてくれた両親に心から感謝します。  
女学院の素晴らしいに育まれ、皆さんから喜びをいただき、このときまで何とか元気に忙しく過ごして参りました。女学院のおかげです。ありがとうございます。

卒業式への参加者と夜のシャローム会への参加者およそ50名が母校を思い、パイプオルガンの音色とともに女学院を満喫した一日でした。参加者の感想を書き添えました。

50th ANNIVERSARY  
50年目の卒業式

1974(S49)年高卒 長野 加代子



# Mission Family



古賀ひとみさん  
1977(S52)年高卒

2025年9月7日、9月14日までタイのパタヤで開催されたバトミントンシニア世界大会女子ダブルス65歳以上の部で世界一に輝いた古賀ひとみさん。初めての世界大会への挑戦で見事優勝に輝いたことに本人もびっくり！小学生で始めたバトミントンを続けながら、女学院ではなぜかテニス部に所属し、



楽しい学校生活を送りテニスで大学へガールコ(彼女の呼び名)の世界一に勇気と感動をもたらした同級生たち24名が急遽集まり祝勝会を行った。10月2日「スタジオ音楽」にてフラダンスあり太鼓ありの応援合戦。それは見ごたえのあるもので、これらも全て彼女の趣味だというから驚きだ。4人の子育てでブランクも長かったが、36歳に復帰して今がある。40歳でじん帯を痛めた時には優しい夫のおかげで無事に手術もできた。

今回初めて取材でお会いしましたが、すべてを懸命に生きる貴方のお話を聞けて元気をもらえました。ガールコ!!金メダルも宝ものだけでなく、応援してくれる同級生は何ものにも代えがたい宝物だね。金メダルおめでとう、そしてありがとう。

Let's do it now!  
「一度きりの人生、いろいろ挑戦したい!」

大学開学より35年、多くの卒業生を輩出しています。  
女学院といえば、キリスト教と英語。  
ミッションスピリットを持つ大卒生、山本陽子さんにお話をうかがいました。

## プロフィール

1996年人文学部英米文化学科入学。3年次に米国に交換留学、受洗する。教職課程を履修し、中高教諭(外国語)免許を取得。  
卒業後は企業に就職し、結婚、出産、転職を経て、英語教師の夢が強まる。日本女子大学通信教育課程にて幼稚園・小学校教諭免許取得。現在、神奈川県川崎市小学校教諭。



山本 陽子さん  
2001(H13)年大卒

## 好奇心いっぱい的大学生活



母が短大卒で、親子2代で板倉武子先生に教わりました。東野小学校や日佐キャンパスで、子供たちに英語指導をする機会もありました。

小郡キャンパスでは、図書館が気に入りました。元々演劇が好きで、大学では戯曲を読むようになり、小田島雄志訳シェイクスピア作品全巻を図書館にリクエストして入れてもらって、読みふけりました。母の同級生が図書館職員だったこともあり、立ち寄りやすかったです。

部活動は、日本文化を学ぼうと箏曲部に入りました。現在仕事でこのクラブを担当し、その経験が役立っています。また、詩を鑑賞するクラブPoetry Palsにも入っていました。他にも、大学の掲示板を見ては、フランス語、ハンブル、秘書検定、危険物取扱などの資格取得に励みました。

3年の秋より1年間、ランドルフ・メーコン女子大学に留学しました。

## 導かれて入信

留学生対象の英語科目をはじめ、音楽クラシックバレエなども学びました。とくに、数学教授法では、問題を解いてそれをどう解説するかを考えるのが面白かったです。他にも様々な文化体験ができ、「留学」というより「遊学」という感じでした。

## 夢に向かって

幼い頃、教会の日曜学校に通いました。日本語が話せない牧師先生の家族を母が手助けし、家族ぐるみで交流するうちに、教会が身近になりました。当時のテキストを大事にしていて、留学先にも持って行きました。滞在中バプテスト教会に入り、礼拝出席だけでなく、現地の方々に日本語や日本文化を教えました。そして突如「洗礼を受けた!」と思い、私の信仰生活が始まりました。現在は、所属教会で月に1度奏楽の奉仕をさせていただいています。昨年には、アメリカの教会で「緒だった友人一家が来日して、念願の再会を果たしました!」



## 古希同窓会

1973(S48)年卒業の同窓会を開催しました。  
学生時代を映し出したスライドショーを観た時、イカリの制服を着た私達があるの中に居たように見えました。  
仲間達と一緒に学生生活へタイムスリップ出来た素敵な同窓会になりました。

1973(S48)年高卒 今岡 由伊子

た。「英語、向いてるよ!これからは小学校で英語を教える時代がくる!!」と繰り返し勧められ、高校と大学で英語を専攻しました。

卒業後様々な業種を経験しました。インターナショナルスクールで事務兼日本語教師として勤めていた折、英語教師への夢が強くなりました。子育て中でもあり、派遣社員に転職して、通信で幼稚園・小学校教諭免許を取得しました。

教育実習は、キリスト教主義の幼稚園でした。ありがたいことにその幼稚園で仕事をしましたが、英語教育の夢をあきらめきれませんでした。非常勤で院内学級や塾で経験を積んだ後、欠員の出た小学校に呼ばれました。臨時的任用職員として支援級でいろいろな学年の児童を個別にサポートし、各教室に入って学級経営を学べました。

様々な実践を経て、教員採用試験を受けて合格。教諭生活7年になります。3・4年生を担当した際は、交換授業で学年全クラスの外国語活動を担当しました。今年度は、初めて外国語専科となりました。3・6年生の全クラスで英語を教え、念願叶って充実の毎日です。

これまであらゆることに関心を抱き、挑戦してきました。女学院で培ったことが活かされている今、繋がりを強く感じています。僥倖ながら取材を受け、大変光栄に思います。



## 逝去

つつしんで哀悼の意を表し、主による平安をお祈りいたします。

(敬称略)

2024.12.31 中嶋 勇子 (中嶋) 1937(S12)女・1938(S13)専	2025.2.16 平野 緑 (竹下) 1957(S32)高
2025.1.2 河内 慶子 (綱島) 1941(S16)女	2025.2.20 東 鋭子 (大家) 1958(S33)高
2024.9.28 日高 ヒロ子 (中田) 1941(S16)女	2025.11.12 寺崎 慶子 (安田) 1958(S33)高
2025.2.17 田中 須美子 (松田) 1942(S17)女	2024.1.5 佐藤 雅子 (金沢) 1959(S34)高
2025.10.4 片山 久子 (越尾) 1943(S18)女・1944(S19)専	2025.3.5 橋本 和子 (京都) 1961(S36)専
2016.11.30 吉田 マサ子 (傍島) 1943(S18)女	2025.7.21 本田 恵子 (松田) 1962(S37)高
2022.8.11 森脇 真理子 (伊藤) 1944(S19)女	2025.2.23 山中 栄子 (佐々木) 1962(S37)高
2025.1.6 稲田 瑤子 (稲田) 1944(S19)女	2025.1.17 門田 洋子 (高山) 1962(S37)高
2024.12.30 君島 和子 (福田) 1945(S20)女	2024.9.23 丸山 由加利 (井手) 1963(S38)高
2025.9.10 椎津 万里子 (牧野) 1946(S21)女	2021.8.16 黒瀬 令子 (高橋) 1963(S38)高
2024.10.12 間 孝子 (山本) 1947(S22)女	2025.3.2 中本 愛子 (徳原) 1967(S42)高
2025.1.3 森 俣代 (三宅) 1950(S25)高	2016.10.6 櫛田 敏子 (小野) 1967(S42)短
2025.3.10 永井 素子 (徳永) 1951(S26)高	2024.9.1 甲本 洋子 (福田) 1967(S42)短
2025.10.8 岡 智恵子 (袴) 1952(S27)高	2025.12.14 籌 鈴子 (村上) 1968(S43)高・1970(S45)短
2025.1.1 中田 礼子 (坂本) 1952(S27)高	2025.1.25 八木 枝理子 (高木) 1969(S44)高・1971(S46)短
2024.10.6 鹿島 静子 (佐藤) 1952(S27)高	2025.9.26 仲山 恭子 (仲山) 1976(S51)短
2025.2.9 佐野 英美 (渡辺) 1953(S28)高	2023.12.3 安田 和子 (安田) 1976(S51)短
2025.10.2 三浦 テル子 (西田) 1954(S29)高	2022.11.22 佐藤 悦子 (山田) 1977(S52)高・1979(S54)短
2024.8.1 田中 悠子 (蓮井) 1955(S30)高	2024.12.31 塚本 勢津子 (西崎) 1979(S54)短
2025.1.5 安西 丈子 (井上) 1956(S31)高・1957(S32)専	2024.12.11 大橋 恵子 (山本) 1983(S58)短
2024.12.1 梶谷 黎子 (岡村) 1956(S31)高	2024.11.17 菅原 奈穂子 (宗田) 1988(S63)高・1991(H3)短
2025.6.22 広瀬 微孝 (矢野) 1956(S31)高	

ご家族の了承を頂いた方のみ記載しております。

※( )旧姓です。※卒年順です。  
2025.12.31現在

## 〔中学校・高等学校〕同窓会入学特別選考のお知らせ

同窓会会員のお子様・お孫様・姉妹様の入学希望者につきましては、入学時にかかる費用の一部を奨学金として給付する制度があります。詳細は同窓会事務局にお問い合わせください。

### 財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切にに使わせていただいております。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## ラベルシールをご確認のうえ会費納入のご協力をお願いいたします。

同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」送付時の宛名ラベルシールの左下に、満期までの口数を記載しております。完納されている方は0と記載されます。

### 会費振込先

ゆうちょ銀行からのお振込み

0179-4-19034  
福岡女学院同窓会

他銀行からのお振込み

ゆうちょ銀行 店名 一七九(イチナナキユウ)  
当座 0019034  
福岡女学院同窓会

■ 満期までの口数(残)  
2024年12月末現在

完納された方は「0」と記載されます。

(例)右図の場合は満期(額)に対して21口分(21,000円)残っています。  
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。

宛名ラベルシール

〒811-1313  
福岡県福岡市南区日佐3-42-1

福岡 花子 様

21

29990013

■ 会員No.

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。その場合は代替文字で表記させていただきます。ご了承ください。

例: 吉→吉 辻→辻

## 活動報告

- 1 同窓会総会
- 2 役員会
- 3 支部長会
- 4 支部総会
- 5 名簿管理
- 6 会計処理
- 7 ホームページ・Facebook・Instagram・公式LINE管理

- 8 会報誌『ぶどう』発行
- 9 創立記念日ホームカミング・バザー開催
- 10 卒後50年の同窓生を卒業式へ招待
- 11 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
- 12 クリスマス会、卒後25年の同窓生招待
- 13 学校部会支援
- 14 在校生支援
- 15 学院支援



## 役員紹介

### 会長

野田 幸子 (1979(S54)年高卒)

### 副会長

稲原しのぶ (1979(S54)年高卒)

津留崎幸代 (1982(S57)年高卒)

古賀真理子 (1993(H5)年高卒)

### 財務部

三船 則子 (1982(S57)年高卒)

相良 美佐 (1982(S57)年高卒)

### 総務部

三浦 徳子 (2000(H12)年高卒)

渡邊 美加 (1979(S54)年高卒)

### 会員部

魚住 直美 (1974(S49)年短卒)

長野加代子 (1974(S49)年高卒、1976(S51)年短卒)

諸江 陽子 (1976(S51)年高卒)

### 広報部

城戸真由美 (2000(H12)年大卒)

牛島 惇子 (1966(S41)年音卒)

### 監査

田中 由利 (1982(S57)年高卒)

中川 文恵 (1986(S61)年高卒)

### 事務局

城取 祐子 (1996(H8)年短卒)

中津菜美子

吉田 友美



監査



本部



事務局

## ＼ご登録よろしくお願いいたします！／

Instagram



公式LINE



友だち追加  
ID:@fjdousoukai

Facebook



## クリスマス会

2025年12月13日(土)、クリスマス会を開催いたしました。

エリザベス・リーホールにて守山院長とともに礼拝を守りました。

その後の祝会では、演奏会、バザーや抽選会、懐かしい仲間との歓談でにぎわいました。

2000(H12)年卒業(高校・短大・大学)の皆様にお集まりいただきました。卒後25年おめでとうございます！

次回は 2026年  
12月12日(土)

2001(H13)年卒業生をご招待します。お誘いあわせのうえ、お越しください。  
お待ちしております！ \*詳細は別途ご案内いたします。



# 福岡女学院創立141周年記念行事のお知らせ

1885年に創立された福岡女学院は、2026年に創立141周年を迎えます。同窓生の皆様と一緒に記念日をお祝い致したく、ご案内申し上げます。記念行事等の詳細は決定次第、順次学院ホームページなどに掲載いたします。皆様のお越しをお待ち致しております。

学院ホームページ



**日にち** 2026年5月16日(土) **場所** 福岡女学院 (福岡市南区日佐3-42-1)



**2026年度、メイクイーンは110回目を迎えます**

エリザベス・リー校長の発案により始まったメイクイーンは、現在も華やかに受け継がれています。

**作品募集**

**第13回福岡女学院短歌コンクール**

「今をうたう」をテーマに短歌作品を募集いたします。概要は短歌コンクールウェブサイトをご覧ください。(4月下旬頃公開予定)たくさんのご応募をお待ちしております。

短歌コンクールウェブサイト

**同窓会サポーター募集!**

同窓会活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。女学校・中・高・短大・大学・看護大・大学院すべての卒業生が対象です。サポーターとしてご登録いただける方は、**同窓会事務局**までご連絡ください。ご協力をよろしくお願いします!

編集後記

**ぶどうの一粒**

個性豊かで幅広い世代の同窓生をイメージして、ぶどうのグラデーションカラーの表紙でお届けいたします。コロナ禍を経て、学院創立140周年を迎え、メサイアも開催され、おかげさまで誌面のにぎわいを取り戻しました。ご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。(広報部 城戸真由美・牛島惇子)

皆さまの声をお聞かせください。ご意見・ご感想をお待ちします。

第2段 発売中

# FEILER

**福岡女学院オリジナル フェイラーハンカチ**

① エンジ

② パープル

販売価格 各 **3,520円** 税込 サイズ:約25cm×25cm 製造国:ドイツ 素材:綿100%(スリット糸使用)

【WEB注文はこちら】 <https://www.salat.club/feiler/fukujo2>

mission goods

株式会社ミッションサポート  
営業時間 9:00~12:00  
13:00~17:00  
TEL 092-575-2551  
Email [info@missionsupport.co.jp](mailto:info@missionsupport.co.jp)

福岡女学院大学売店 TEL 092-575-5481

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第31号 2026

**福岡女学院同窓会**

〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1  
TEL(092)575-2479 FAX(092)575-5959  
【URL】 <https://www0.fukujo.ac.jp/alumnae/>  
【E-mail】 [alumnae@fukujo.ac.jp](mailto:alumnae@fukujo.ac.jp)

福岡女学院 同窓会

検索

**■個人情報取扱いについて**

2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ (受付時間:月~金 午前10:00~12:00/午後13:00~17:00)